

だい ぶ かだい
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい
第16回
まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール
しゅう き たいかい
秋季大会
か だい
【課題】
だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん
第5部 和文A 小学生低・中学年
ことわざ・慣用句①
せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,500字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど
おりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん
一般社団法人

にほん のうりよくけんていいいんかい
日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省


もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


た とり
立つ鳥あとをにごさず 


てんさいはわすれたころにやってくる 


そなえあればうれいなし 


やまい き
病は気から 


るいはとも
友をよぶ 


かえるの子はかえる 


まな板のこい 

えびでたいをつる 


のこりものにはふく
福がある 


はな
花よりだんご 


うま みみ
馬の耳にねんぶつ 


おににかなぼう 


きつねとたぬき 

さるもき
木からおちる 


め くち
目は口ほどにものをいう 


ねこにこ
小ばん 


ゆだんたいてき 


あたま
頭かくしてしりかくさず 


こいのたきのぼり 


ぬかにくぎ 


れきしはくり返す 


した
親しきなかにもれいぎあり 


さかな おお
にがした魚は大きい 

ふくろのねずみ 


わらうかど
門にはふく
来たる 


ちりもつもればやま
山となる 


へそでちゃ
茶をわかす 

つるのひとこえ
一声 

せいてはことをしそんじる 

すずめのなみだ 

いし うえ さんねん
石の上にも三年 

わかし
昔とったきねづか 

くさいものにふたをする

人のふり見てわがふり直せ

ほねおりぞんのくたびれもうけ

けんえんのなか

とんびにあぶらあげをさらわれる

六十の手習い

来年のことを言えばおにがわらう

ももくり三年かき八年

身から出たさび

りょうやくは口にながし

よいっばりの朝ねぼう

なきつつらにはち

大ぶろしきを広げる

大ぶろしきを広げる

実際にありえないようなことを大げさに言ったり、実行でき
そうもないことをできるように自まんしたりする。

おじさんはいい人だが、大ぶろしきを広げるくせがある。

顔が広い

顔が広い

世の中の人によく知られていて、知り合いが多い。

顔の広い先生は、町の人とよくつきあい、人気者である。

道草を食う

道草を食う

よこみちにそれて手間どる。とちゅうでおだな時間をついや
す。

ともだちとのおしゃべりで道草を食っていたら、れっしゃの
はっしゃじこくにおくれてしまった。

心がこもる

心がこもる

その人の気持ちや、真心がうかがわれる。

どんなに高価なおくりものより、あなたの心がこもった一言
は、わたしを勇気づけてくれた。

お茶をにごす

いいかげんなことを言って、その場をごまかす。

弟にたのまれたしゅくだいができなかつたので、「この本を見たら」と言ってお茶をにごした。

↓

かみなりをおとす

かみなりが鳴るような大声でどなりしかる。

まどガラスをわったら、おじさんにかみなりをおとされた。

↓

目をうばわれる

目をひきつけられるほど、すばらしい。

五月のわかばは、目をうばわれるほどあざやかだ。

↓

気に入る

自分のこのみやのぞみに合う。すきになる。

このおみやげから、あなたの気に入ったしなをえらんでね。

↓

はをくいしばる

くやしいことやつらいことなどをじっとがまんする。

校内マラソン大会では、はをくいしばって走りつづけたので、二とうになった。

↓

気がもめる

気にかかって落ちつかない。やきもきする。

約束した時間に友達が来ないので、気がもめる。

↓

耳をすます

ちゅういして、じっと聞こうとする。

「耳をすましてごらん。虫の音が聞こえるよ。」

↓

お手上げ

全くどうにもしようがなくなること。全くどうすることもできなくなること。

かのじよのシュートはきょうれつなので、キーパーはお手^て上^あげだ。☞

☞

はがたたない☞

^{あいて}相手との^{ちから}力がちがいすぎて、とてもかなわない。☞

^{きょう}今日のテストはとてもむずかしくて、はがたたなかった。☞

☞

^{いちもく}一目を^お置く☞

^{あいて}相手が^{じぶん}自分より^{すぐ}優れていることをみとめて、^{うやま}敬う^{きもち}気持ちを持つ。

☞

^{かれ}彼のパソコンについての^{ちしき}知識には、^{せんせい}先生も^{いちもく}一目を^お置いている。

。☞

☞

^{ふた}二つへんじで☞

ためらうことなく、こころよくすぐしょうちする。☞

^{せんせい}先生^{ふた}のてつだいを、二つへんじでひきうける。☞

☞

^き気が^き気でない☞

^{しんぱい}心配でじっとしてられない。☞

かみなりが^な鳴ると、^{いま}今にも^お落ちはしないかと^き気が^き気でない。☞

☞

^き気にかかる☞

あるものごとが^{こころ}心からはなれず、^{しんぱい}心配である。☞

かていか^{きょうしつ}教室のガスゆわかしきをけしてきたかどうか^き気にかかった。☞

☞

^め目がこえる☞

いろいろな物^{もの}をみて、^よ良い^{わる}悪いの^{くべつ}区別が^わ分かるようになる。☞

^{きもの}着物のことは、^め目がこえている^{そぼ}祖母に^{えら}選んでもらうとよい。